

## 共同印刷、フィルムレス紙包材を開発 プラスチック使用量を削減した環境配慮製品を拡充します

共同印刷株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:藤森康彰、以下:当社)は「フィルムレス紙包材」を開発しました。当社の得意とする紙加工の技術を生かしたプラスチックフィルムを使わない紙仕様包材で、プラスチック使用量を大幅に削減し、紙のリサイクル性を向上させました。今後も当社は環境に配慮した包材の開発に注力し、社会のサステナビリティ推進に貢献します。

当社はフィルムレス紙包材を開発しました。世界的な社会課題となっている「廃棄プラスチックによる海洋汚染問題」や「温室効果ガス排出量削減」に向け、環境負荷を低減する容器包装が求められています。その



解決策の1つとして、石油由来のプラスチックパッケージから、植物由来でリサイクルが可能な紙素材への移行が進んでいます。ただし昨今流通している紙仕様パッケージの多くは、紙とPET、PE、PPなどのプラスチックフィルムを貼り合わせて構成されており、脱プラスチックへの対応としては不十分です。そこで当社の得意とする紙加工の技術を活用し、プラスチックフィルムを使わない紙仕様包材を開発しました。これによりプラスチック使用量を大幅に削減し、紙のリサイクル性を向上させました。

今回当社が開発したフィルムレス紙包材は、シール層としてフィルムを貼る代わりに樹脂をコーティングしてヒートシール層を形成しているため、プラスチック使用量を大幅に削減しています。この包材の使用により、環境に配慮したパッケージを実現できます。また既存の包装機で製袋可能のため、包材切り替えコストも抑えられます。

当社は今後も環境に配慮した包材の拡充をすすめ、持続可能な社会の実現をめざします。

### 【機能・特長】

- ・紙マークの付与が可能
- ・プラスチック使用量とCO<sub>2</sub>排出量の削減が可能
- ・主なメーカーの包装機で製袋が可能
- ・フィルムパッケージ同様に様々な形態に対応が可能
- ・リサイクル性が向上



フィルムレス紙包材を使用したパッケージのイメージ